

平成30年度決算がまとまりました

納付金が財政を圧迫
今後とも強いられる
厳しい財政運営

7月17日に開催された116回
組合会において、当健保組合の
平成30年度決算が可決・承認さ
れましたので、お知らせします。

保険料の4割以上を占める
納付金によって厳しい財政

当健保組合の平成30年度決算は、
みなさんの医療費などである保険給
付費や高齢者医療制度への納付金の
減少があったことなどにより、予算
編成当初の赤字見込みから一転し
て、黒字で決算を終了しました。

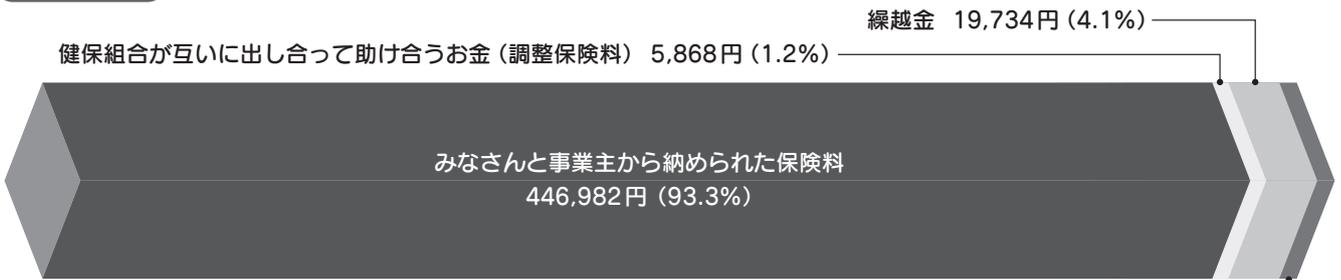
しかし、当健保組合の財政は安定
した状況にあるとはいえません。そ
の理由は納付金にあります。高齢者
の医療費として健保組合が負担する

納付金の額は、保険料の4割以上を
占め、重すぎる負担となっています。
これが長年にわたって健保財政を圧
迫しており、医療保険制度のしくみ
上、当健保組合の自助努力だけでは
その負担を減らすことはほとんどで
きないため、今後ともこうした厳しい
運営が続くものとみられます。

このような状況から、当健保組合
でできることは、みなさんの医療費
の適正化を図ることです。はしご受
診や時間外受診をなくしたり、ジェ
ネリック医薬品の使用などで医療費
を少なくすることができまます。また、
日ごろからウォーキングなど体力づ
くり励んだり、栄養バランスの良
い食生活を送っていただくことも医
療費の節減につながります。どうか

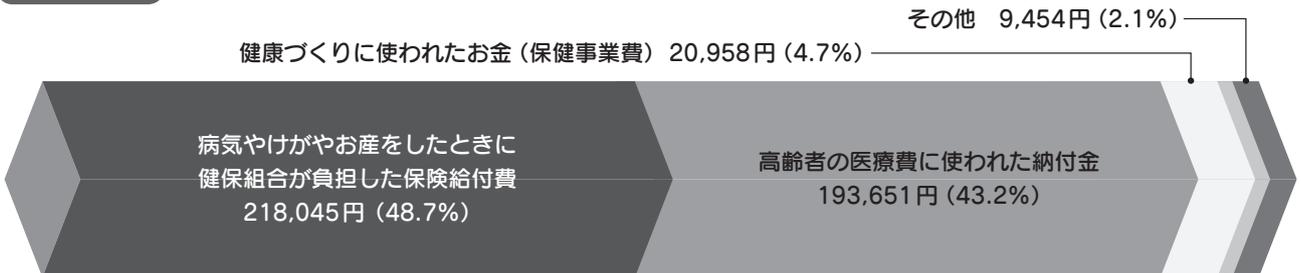
被保険者1人当たりでみた収支決算（健康保険）

収入合計 479,286円



その他 6,702円 (1.4%)

支出合計 447,951円



健保組合が互いに助け合うための拠出金 5,844円 (1.3%)

※四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります

…………… 平成30年度収支決算概要 ……………

健康保険

■収入

科 目	決算額 (千円)
みなさんと事業主から納められた保険料	2,491,478
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	32,708
繰 越 金	110,000
そ の 他	37,353
合 計	2,671,539

■支出

科 目	決算額 (千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担した保険給付費	1,215,384
高齢者の医療費に使われた納付金	1,079,409
健康づくりに使われたお金(保健事業費)	116,819
健保組合が互いに助け合うための拠出金	32,573
そ の 他	52,695
合 計	2,496,880

介護保険

■収入

科 目	決算額 (千円)
みなさん*と事業主から納められた 介護保険料	262,050
繰 越 金 等	5,973
合 計	268,023

■支出

科 目	決算額 (千円)
国に納める介護納付金	267,323
合 計	267,323

*介護保険第2号被保険者たる被保険者等



健康づくりを皆さんの
保健事業でみなさんの
サポート

みなさんのご理解・ご協力をお願いいたします。

平成30年度決算は、収入総額26億7154万円、支出総額24億9688万円、収入支出差引額1億7466万円となりました。実質的な収支を示す経常収支においても3313万円の黒字で終えることができました。

収入については、健保組合収入の大きな柱となる保険料が、前

年度に比べて6666万円減少の24億9148万円となりました。

支出では、みなさんが病気やけがをしたときの医療費や出産されたときなどの給付金として使われた保険給付費が12億1538万円となり、前年度比3257万円の減少です。主に高齢者の医療費として使われた納付金は10億7941万円となり前年度より6677万円少ない額となりました。各種健診や予防接種、保養所利用の費用補助などに使われた保健事業費は1億1682万円となり、前年度比187万円の減少です。